

やさい週間情報(第13号)

平成29年7月7日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	6,000~	6,000~	-	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 「むぎとろの日」の宣伝会以降、ながいもの発注が減り、仲卸および市場在庫が非常に多く荷動きは鈍化している。その中でもC品の荷動きは比較的良いものの、太物を中心に厳しい販売となっている。
		A3L	6,000~	6,000~			
		A2L	5,500~	5,500~			
		A L	5,000~4,800	5,000~4,800			
		A M	4,500~4,000	4,500~4,000			
		B4L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B3L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B2L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		B L	4,300~	4,300~			
		B M	4,000~	4,000~			
		C2L	4,400~4,200	4,400~4,200			
C L	4,000~3,800	4,000~3,800					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,800~6,500	6,800~6,500	多い	1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。他地区からの転送品や北海道産の出回りが多く、価格差から厳しい販売となっている。市況は保合となっているものの、市場・仲卸在庫とも多く荷動きは悪化している。来週以降については、流通在庫は多いものの、人参の選果作業等により流通量が減少する見込みとなっていることから、価格については保合での販売が続く見込み。
		A3L	6,800~6,500	6,800~6,500			
		A2L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		A L	5,200	5,200			
		A M	4,600~4,200	4,600~4,200			
		B4L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B3L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B2L	5,700~5,500	5,700~5,500			
		B L	4,700	4,700			
		B M	4,400~4,000	4,400~4,000			
		C2L	4,700~4,600	4,700~4,600			
C L	4,300~4,200	4,300~4,200					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,500~6,000 6,500~6,000 6,000~5,500 5,000~4,800 6,000~5,200 5,800~5,000 5,600~5,300 5,000~4,500 4,500~4,200 4,000~3,800	6,000~5,800 6,000~5,800 5,500~ 5,000~4,800 5,200~5,000 5,200~5,000 4,700~4,500 4,300~ 4,400~4,200 4,000~3,800		カット 78~98円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 北海道産・本県産ともに入荷量は少ないものの、特に売価の高い太物を中心に荷動きの鈍い状態が続いている。また、北海道産・本県産を問わず、本県産の転送の案内は、非常に活発な状況にある。 来週についても、引続き入荷量は少ないものの、需要は回復しきらず、価格は弱含み推移と見込み。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	6,800~6,500 6,800~6,500 6,300~6,000 5,500~5,200 5,800~5,500 5,800~5,500 5,300~5,000 4,800~4,500 4,300~4,000	6,800~6,500 6,800~6,500 6,300~6,000 5,500~5,200 5,800~5,500 5,800~5,500 5,300~5,000 4,800~4,500 4,300~4,000		カット 100g 98~78円	九州地方は豪雨および降雨続きから、青果物全般に荷動きが鈍く、にんじんの選果作業に伴い流通量は減少となっているが、引き合いは弱い状態が続いている。 現在価格を若干下げて、荷動きの回復を図っているものの、売価高が続いていることから、価格は弱めで推移している。 今後も本県産の流通量は増とはならないが、青果物全般に前年を下回る販売が続いていることから、ながいもについても弱保合の状態が続く見込み。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,500~ 6,500~ 6,200~ 5,200~5,000 6,000~5,800 6,000~5,800 5,500~5,300 4,700~4,500 4,500~4,300 4,000~	6,200~ 6,200~ 5,500~5,300 5,000~4,800 5,200~5,000 5,200~5,000 4,500~ 4,300~ 4,200~ 4,000~3,800	なし	1本売り 480~円 カット 100g 84~78円	本県産中心の販売。 引続き、ながいもの需要期ではあるものの、売価高から末端の荷動きは鈍い。ただ、人参の選果が始まったことにより入荷量は減少している一方で、安価な転送品の案内が非常に多く、市況は下げとなっている。 来週以降についても入荷量は少ないものの、荷動きが鈍く、仲卸在庫が多い中で、安価な転送品の案内が続く見通しとなっており、弱含み推移の見込み。

品名 にんにく

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 (生) 香川県産 (乾燥)	A 2 L A L A M 秀 3 L 秀 2 L 秀 L	2,200~2,000 2,000~1,800 1,800~1,600 1,600~ 1,600~ 1,400~	2,200~2,000 2,000~1,800 1,800~1,600 1,600~1,500 1,600~1,500 1,400~1,200	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 ｽ ^ﾊ ｲ ^ﾝ 産 1 P 158~98 円	西南暖地産の乾燥品中心の販売となっている。 香川県産は病害虫の影響から、乾燥品の出荷が少なく、総体量の少なさから荷動きは良い。 来週について本県産の乾燥品の出荷開始となるが、総体量の少ない状況で出荷開始となることから、引合いは強い状況が見込まれる。
名古屋	本県産	(生) A 2 L A L	1,200 1,000	1,200 1,000		L 1 P 258~198 円	29年産については生にんにくも概ね終了となり、来週については一部本県産乾燥品の販売が始まる見込みとなっている。 28年産の流通在庫も整理されており、順調な販売が見込まれる。
大阪	本県産	(生) A 2 L A L A M (乾燥) A 2 L A L A M	1,500 1,200	2,200~ 2,200~		L 1 P 298 円	本県産の生品の販売。 入荷量が少なく、生品のための販売に切替っているが、流通量の少なさから堅調な販売で推移した。 来週については、一部乾燥品の出回りがある予定となっているが、同様の傾向は続き、流通量の少なさから堅調な販売となる見込み。
東北	本県産	(生) A 2 L A L	1,200~1,100 1,200~1,100	1,200~ 1,200~	なし	L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 本県産の生品の入荷量は多くはないものの、28年産乾燥品の在庫を各社持っており、生品の荷動きは鈍い。市況は日々軟調推移。 来週についても、引続き入荷量の少ない乾燥品は保合での販売となる見込み。

品名 きぬさや

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	1 kg	1,800～	1,800～			遅れていた東北各産地が一気に出揃い、潤沢な入荷となった。これまで高値での販売が続いたことから豆類全般に荷動きが悪く、本県産についても相場は弱含みの販売となった。 来週については、東北産地の入荷量は徐々に減少する見込みとなっているが、相場は保合で推移する見込み。
名古屋	本県産 岩手産 北海道産	A L A M	1,700～1,500 2,000～1,800	1,700～1,500 2,000～1,800			本県産・北海道産中心の販売となっている。 本県産が徐々に減少となっているものの、北海道産の増量や、品質の低下が散見されることなどから下げ基調での推移となった。 来週以降、本県産は終盤となるものの北海道産がピークに入ることから、今週同様に厳しい販売が続く見込み。
大阪	北海道産 岩手県産 本県産	A L A M	1,000～ 1,800～1,300	1,000～ 1,800～1,300			本県産を中心に、北海道産・岩手県産の販売。 業務需要が活発でないことと、入荷量が少ないものの北海道産・岩手県産が安価であることから、本県産の引合いは弱くなってきており、価格も弱含みで推移した。 来週については、本県産も含めて入荷量は少なくなるため、荷動きは良くなるものの、価格については保合推移となる見込み。
東北	本県産	A M	2,000～1,800	2,000～1,800		—	本県産中心の販売。 東北産および北海道産の潤沢な入荷が続いたことから、保合での販売となった。 来週については、本県産含む東北各産地からの入荷量は減少傾向で推移する見通しとなっているものの、他県産との販売単価差から保合で推移する見込み。

品名 だいこん

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 北海道産	A 2 L A L	800～ 700 900～ 800	800～ 700 900～ 800	—	1本 198～178円 ハーフカット 98円	<p>本県産、北海道産中心の販売となっている。</p> <p>北海道帯広地区は順調な入荷となっており、羊蹄地区についても週後半から入荷開始となった。本県産については他作業の影響から入荷量は減少しているが、道産の入荷が潤沢であるため総体量は変わらず多い状況が続いている。</p> <p>来週について、本県産は減少予想ではあるものの、北海道産の入荷が潤沢であることから、相場は保合で推移する見込み。</p>
名古屋	本県産 北海道産	A 2 L A L	800～700 900～800	800～700 900～800		1本売り 198～158円	<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>本県産については、出荷後半となり徐々に減少となっているものの北海道産が潤沢な入荷となっており、価格については概ね保合での販売となった。</p> <p>来週については、引続き北海道産の潤沢な入荷が続くことから、今週同様に保合での販売が続く見込み。</p>
大阪	北海道産 本県産	A 2 L A L	800～ 1,000～	800～ 1,000～		L 1本 198円 ハーフ 98円	<p>北海道産・本県産の販売。</p> <p>北海道産が潤沢な入荷となったことと、やさい全般の荷動きの鈍さから、価格は弱保合での推移となった。</p> <p>来週以降についても、同じ傾向は続き、価格は弱保合で推移する見込み。</p>
東北	関東近在産 本県産	A 2 L A L	800～ 700 1,000～ 800	800～ 700 900～ 800	—		<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産中心の入荷の中で、北海道産の入荷も潤沢であったことから市況は軟調推移した。</p> <p>来週についても、入荷量は変わらないものの、荷動きは鈍く、市況は弱保合推移の見込み。</p>

品名 こ か ぶ

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L	1,000～ 800 1,000～ 800	1,000～ 800 1,000～ 800			<p>本県産中心の販売。 千葉県産の入荷量は少ないが、本県産は潤沢な入荷が続いており、弱保合での販売となっている。 来週について、津軽地区の入荷も徐々に増量しており潤沢な入荷量となることから、保合での販売となる見込み。産地・消費地の双方で気温高が続いており、品質不良が散見されているため、出荷時の検品をお願いしたい。</p>
名古屋	本県産	A 3 L 2 L	900～800 900～800	900～800 900～800			<p>本県産中心の販売となっている。 3 L・2 Lは企画の中心となっている中、安定した入荷となり堅調な販売となったものの、一部で品質への懸念もあり弱保合での販売となった。 来週についても、好天から安定した入荷が見込まれる中、本県産主体の売場展開から概ね保合での販売が続くものと思われる。</p>
大阪	本県産	A 3 L A 2 L A L	900～ 800 1,200～1,000 1,000～	900～ 800 1,200～1,000 1,000～			<p>本県産中心の販売。 本県産の品質は安定して良いものの、全体的に荷動きは悪く、販売の中心となる2 L以外で価格は弱含みとなった。 来週についても、同じ傾向は続き、価格は保合で推移する見込み。</p>
東北	本県産	A 2 L A L	1,000～ 800 1,000～ 800	1,000～ 800 1,000～ 800			<p>本県産中心の販売。 安定した入荷が続いているなかで、荷動きの鈍さから市況は下押しで推移した。 来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、保合で推移する見込み。</p>

品名 きゅうり

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,500~	1,500~			<p>関東近在産中心に福島県産の販売となっている。</p> <p>東北産地の気温上昇から総体量は増量傾向となっている。福島県産についても露地物で遅れていた生育が徐々に回復してきており、出荷量は増量傾向。</p> <p>来週についても、引続き東北産が増量の見込みから相場は弱保合での販売となる見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M A S	1,400~1,200 1,600~1,400 1,500~1,300	1,200~1,000 1,400~1,200 1,300~1,100			<p>関東近在産中心の販売となっている。</p> <p>関東近在産については終盤となっているが、遅れていた本県産および東北各県産の出荷が増量となっており、総体量の多い状況が続いている。L・2Lの入荷が非常に多く、L級以上を中心に厳しい販売となった。</p> <p>本県産については、着色の進んだものや軟果も散見されているため、産地切替がスムーズに進んでいない。</p> <p>来週についても、各産地入荷量は増量基調である上に、連休へ向けて売込みを図っていくため、相場については弱含みの展開となる見込み。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東産	パック 3Kバラパック	140~130 150~140 1,400 120~	130~110 140~130 1,400~1,200 120~100			<p>東北産、関東近在産中心の販売。</p> <p>関東近在産は出荷ピークを過ぎており安定しない入荷状況が続いている。遅れていた東北各産地が徐々に増えつつあり、L中心の入荷となっているため、L級を中心に下げ基調となっている。</p> <p>東北産への切替は徐々に進んでおり、引合いは強いものの、来週についても入荷量の増量が見込まれるため弱含みでの販売となる見込み。</p>

品名 にんじん

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	関東近在産 本県産	本県産 A L A M 千葉県産 (予冷) A L A M	本県産 1,000~900 1,200~1,000 800~700 1,000~900	本県産 1,000~900 1,200~1,000 800~700 1,000~900		L3P 158~148円 M3P 148~128円	本県産および関東近在産中心の販売。 千葉県産については、依然として残量はあり、L中心の出荷が続いている。本県産についても、L中心の出荷から、L級以上が厳しい販売環境となっている。函館七飯地区については概ね7/20前後で出荷終了となる見込み。 来週について、千葉県産の残量はありますが、徐々に本県産への切替も進んでおり、相場については保合で推移する見込み。
名古屋	青森県	A2L A L A M	1,100~1,000 1,100~1,000 1,200~1,100	1,100~1,000 1,100~1,000 1,200~1,100	多い	L3P198円 M3P158円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 本県・北海道産ともに順調な出荷から流通量が多い中、出始めの高値もあり流通在庫が多く厳しい販売となった。また、徐々に2L級の比率が高まっており、下げ基調で推移している。 来週については、徐々に作型が切替わるものの、端境はない見込みとなっており、引続き潤沢な入荷が見込まれることから、価格については弱保合での販売が見込まれる。
大阪	長崎県産 和歌山県産 本県産 北海道産	A2L A L A M	1,100~1,000 1,200~1,000 1,300~1,000	1,000~ 1,100~1,000 1,200~1,000			長崎県産・和歌山県産の残量と、本県産・北海道産の販売。 長崎県産・和歌山県産は出荷の目途がついたものの、荷動きは鈍い状態が続いたままで、本県産への産地切替えは未だ難しい状況となっており、価格は弱含みで推移した。 来週については、前段産地が整理されるため荷動きは良化するが、価格については保合推移となる見込み。
九州	本県産	A2L A L A M A S	1,200~1,100 1,300~1,200 1,400~1,300 1,100~1,000	1,200~1,100 1,300~1,200 1,400~1,300 1,100~1,000		3P/158円	今週から本県産の入荷が本格化し、各社に行き渡っているが、長崎・熊本県産の残量が多く、厳しい販売が続いている。 長崎・熊本県産は来週前半で終了見込みから、本県産への切り替えが一気に進むと思われるが、降雨続きとなっていることから、青果物全般に荷動きが鈍い状態が続く見込みとなっている。 今後も潤沢な入荷量が予想されることから、若干価格を下げて荷動きの回復を優先し、売場の拡大を図る。

品名 に ん じ ん NO.2

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産 関東近在産	本県産 A L A M	本県産 1,000~900 1,100~1,000	本県産 1,000~900 1,100~1,000			<p>関東近在産および本県産中心の販売。関東近在産については、今週いっぱいまで終盤を迎えたものの、在庫を抱えながらの販売となったことから厳しい状況となった。</p> <p>来週について、本県産中心の販売となり、仲卸在庫が整理されていないなかで、安価な転送品の案内も多いことから厳しい販売となる見込み。</p>